

古い住宅用火災警報器は交換しましょう！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなったり、故障しやすくなったりします。

10年を目安に交換しましょう。

10年たったら、とりかえろ。
お宅の火災警報器の話です。



火災警報器

住宅用火災警報器の点検方法

作動確認のしかた
正常なら以下のように鳴ります。



ピーピーピー
火事です ※

ピーピーピー
火事です ※

ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、以下のことが考えられます。



し〜ん

し〜ん

- ▶ 電池は、きちんとセットされているかご確認ください。
- ▶ それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いします。

注意

- ・火災警報器の種類によっては、注意点が異なりますので製品の取り扱い説明書をご覧ください。
- ・お手入れや作動確認は、高所作業になりますので注意してください。